

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成 29 年度 第 3 回理事会 議事録

開催日時：平成 29 年 10 月 13 日（金）18：30～

開催場所：岐臨技事務所

出席者：早川、兼子、林（博）、高木、浅野、松浦、川島、佐々木、荒井、乙訓、林（泉）、
美濃輪、棚村、市川、佐藤、清水、高崎、柴、太田

欠席者：後藤、舟橋、帖佐、森、青木

議長：兼子

議事録：高木

高木部長より庶務部からの連絡事項があった。

1、日臨技より会費の送金（9 月 29 日付け）

平成 29 年度会費 3 名×10,000 円＝30,000 円

平成 29 年度入会金 2 名×500 円＝1,000 円 送金合計額 31,000 円

平成 29 年度「生涯教育推進研修会助成金」臨床微生物部門研修会 送金額 28,000 円（9 月 29 日付け）（高木理事）

2、日臨技より「会員意識調査」並びに「会員施設実態調査」実施方法の変更への協力と周知について。

負担軽減と効率化のため回答を Web 活用に変更する。回答は日臨技 HP トップページ「会員意識調査・会員組織実態調査」回答サイトより。回答期間は平成 29 年 11 月 13 日～平成 29 年 12 月 17 日（高木理事）

3、「日本病院会雑誌」への広告掲載に関する周知のお願いについて。

臨床検査技師が病棟に常駐することによる効果について全国 10 施設の協力により調査したところ、1 日あたり 6.1 時間を要する業務量があることがわかり今後、他職種へ臨床検査技師の病棟配置効果について情報発信をしていきたい。（高木理事）

4、「e ラーニング体験コーナー」支部学会での設置についてのお知らせ

日臨技 e ラーニング「バリュー・レゾリューション」が 2017 年 8 月 1 日より本稼働を開始。e ラーニングを全国の会員に周知するため支部学会にて体験コーナーを設けますので是非体験してください。（高木理事）

5、滋賀医科大学附属病院より臨床検査技師長候補者公募についての依頼があった。

応募資格、採用予定日、選考方法は本学 HP でご確認ください。岐臨技求人情報に載せました。（高木理事）

高木理事より岐阜地区からの報告があった。

「第 38 回ぎふ市民健康まつり」について。

開催日時は平成 29 年 11 月 5 日（日）午前 10 時～午後 3 時 30 分。

会場は岐阜市文化センター1階催し広場。

前日の準備は平成29年11月4日(土)17:00より行う。参加スタッフは後藤理事・高木理事・林理事・早川理事・内藤斉会員。

当日検査実施項目は尿検査、血管年齢、頸動脈超音波の3項目。例年、各検査項目総件数が1,200名分を超える規模である。当日スタッフ人員を9月に募集したところ37名募集が集まった。頸動脈検査ができるスタッフは9.5名となった。

予算案はダイナパルス3台レンタル料(32,400円)消耗品(ウロペーパーⅢ4箱と検尿コップ(13,088円)、当日お弁当代(37,000円)、日当37名(1,000円×37名)37,000円、合計(119,488円)※打合せ会議費(日当、食卓費及び交通費)と前日準備の日当交通費、当日のスタッフの交通費は含まれておりません。(高木理事)

高木理事より第56回岐阜県医学検査学会準備会議について報告があった。

学会開催日は平成30年3月25日(日曜日)午前9:00受付 午前9:30より開催。

実務委員前日準備は3月24日(土曜日)17:30より、当日は8:30に集合し準備を行う。

議題

1、第56回岐阜県医学検査学会実務委員役割分担は、学会長：岐阜大学医学部附属病院 臨床検査技師長 野久謙先生、実行委員長：林 博之理事、事務局：高木 康雄理事、後藤 浩理事、早川 恭江理事、内藤 斉会員、帖佐 光洋理事、武藤 次郎会員、森 晴雄会員。

2、県学会演題募集案内は10月の定期便で発送。

3、賛助会員宛(趣意書・ランチョン依頼書・広告依頼書)は10月定期便で発送。

4、教育講演は清島 満先生(岐阜大学大学院医学研究科病態情報解析医学教授)に決まりました。ご講演依頼は10月定期便で発送します。

5、市民公開講座は奥田 昌子先生に決まりました。講師料は30,000円+交通費で理事会承認をお願いします。ご講演依頼は10月定期便で発送します。

6、一般演題座長は各部門長に依頼を予定しています。

7、学会プログラム(案)については

9:00～ 受付開始

9:30～9:40 第56回岐阜県医学検査学会

第56回岐阜県医学検査学会学会長挨拶(学会長)

岐阜県臨床検査技師会会長挨拶(岐阜県臨床検査技師会会長)

9:40～10:40 一般演題(6例)

10:50～11:50 教育講演(清島 満先生)

12:00～13:00 ランチョンセミナー(1)(2)

13:00～ 市民公開講座 受付・入場開始

13:20 ~14:20 市民公開講座 (奥田 昌子先生)

14:30 ~16:00 一般演題 (9例)

16:00 閉会の辞 (実行委員長)

奥田 昌子先生は京都大学大学院医学研究科修了。内科医。医学博士、日本人間ドック学会認定医。基礎医学研究、京大病院勤務ののち、生命と健康について考えるなかで予防医学の理念にひかれ、健診業務に携わってきました。これまでに20万人以上の診察ならびに診療にあたっています。著書に『欧米人とはこんなに違った日本人の「体質」』(講談社)、『健康診断 その「B判定」は見逃すと怖い』(青春出版社)など。この他に解剖学、医療事故などに関する翻訳書があります。本年4月、日本テレビ「世界一受けたい授業」に出演しました。(高木理事)

本理事会において奥田 昌子先生の講師料を3,0000円とすることで承認を得た。

予算案は収入が参加費(100名)100,000円、広告料(8社)80,000円、ランチョン広告料(2社)100,000円、収入合計額280,000円。

支出が垂れ幕(4枚)40,000円、資料集(400部)250,000円、講師お茶菓子・お茶代・文具3,000円、教育講演講師料50,000円、市民公開講座講師料30,000円、外部講師交通費5,000円、参加者弁当代(1,000円×100個)100,000円、日当・交通費・弁当代50,000円、OKBふれあい会館会場費、前日準備32,400円、OKBふれあい会館会場費当日41,000円、会場附属設備(マイク5本・プロジェクター・講演机・司会机)22,980円、市民公開セミナー景品奥田先生執筆(健康診断そのB判定見逃すと怖い)5冊4,750円、振込み手数料540円、支出合計額629,670円、収支合計額△349,670円(高木理事)

垂れ幕はプロジェクターで映写して節約してはどうでしょうか。(兼子会長)

実務委員会議で検討します。(高木理事)

松浦理事より西濃地区からの報告があった。

平成29年10月15日に大垣市健康広場を開催いたします。

スタッフは13名、検査項目は血管年齢、骨密度を実施し、また血液検査と成人病予備のパネルリーフレットを大垣市民病院の高木先生にお願い当日パネルを使って説明を行いたいと思います。認知症検査は借りることができませんでした。(松浦理事)

荒井理事より飛騨地区からの報告があった。

平成29年度第28回高山市市民健康まつりについて報告があった。

開催日は平成29年10月1日(日)、場所は高山市保健センター1階、開催時間は10:00~14:30、当日の天候は晴れ、来場者数は2600名(昨年実績)、臨床検査コーナーへの来場者数は261名、物忘れ相談プログラムは93名あった。骨密度測定は168名あった。

当日スタッフは14名、舟橋信司理事(高山赤十字病院)、村田貴明会員(高山赤十字

病院)、岩本和樹会員(高山赤十字病院)、北平さやか会員(高山赤十字病院)、松山祐也会員(高山赤十字病院)、中村有理会員(高山赤十字病院)、佐々木昭光理事(須田病院)、山下博子会員(須田病院)、荒井亨理事(久美愛厚生病院)、市岡健人会員(久美愛厚生病院)、岡村明彦会員(久美愛厚生病院)、中井りな会員(久美愛厚生病院)、中切健太会員(久美愛厚生病院)、丹羽慶樹会員(久美愛厚生病院)に協力して頂きました。

今回のテーマは、「健康へ ころもからだもステップアップ!」でした。

岐阜県臨床検査技師会飛騨地区実施内容は物忘れ相談プログラム(日本光電 2 台にて測定)及び骨密度測定(ビーナスα(日本光電)1 台にて骨密度測定)と結果説明を行いました。用意した岐阜県臨床検査技師会名の入ったポケットティッシュを配り技師会の活動をアピールしました。(荒井理事)

物忘れ相談プログラムの評判はどうでしたか。(兼子会長)

93 名の方に参加していただき公表でした。検査で認知等異常が出た方にはかかりつけ病院で診察をうけていただくように支持しました。(佐々木理事)

今後企画に加える機会が多くなりますので異常が認められた時の対応を考えていきましょう。(兼子会長)

荒井理事より平成 29 年度秋季拡大研修会の進捗状況について報告があった。

9 月 7 日(木)実行委員による会場視察を行った。

9 月 25 日(月)第 4 回実行委員会を開催した。

会場視察は実行委員で飛騨・世界生活文化センターに行き、会場の配置、必要物品の洗い出し等の確認作業を行った。

講師及び講演内容は、生理部門が名古屋市立大学特任教授 赤津 裕康先生、演題は「臨床検査技師として知っておきたい認知症と原因疾患の事」。検査総合部門はアボット・ジャパン山田 逸枝先生、演題は「接遇コミュニケーション～相手との信頼関係を築く傾聴スキル～」である。市民公開講座は須田病院 認知症疾患医療センター長 垣内無一先生、演題は「どこまでわかる?認知症検査」である。ランチオンセミナーは、日立製作所:「精神科における光トポグラフィー検査」、日本光電:「アルツハイマー型認知症早期発見の第一歩に物忘れ相談プログラムの有用性」の 2 社である。

広告掲載は東芝メディカル、アボット、アルフレッサ、シスメックス、フクダ電子、富士レビオの 6 社となった。

印刷会社選定については旭クリエイトと山都印刷 2 社より見積もりした結果「山都印刷」に決定し依頼した。

研修会案内は 9 月の定期便で発送した。参加申し込み期限は 10 月 27 日。(荒井理事)

乙訓理事より中濃地区からの報告があった。

平成 31 年度第 58 回中部圏支部医学検査学会、第 1 回実行委員会の報告があった。

実行委員会は平成 29 年 9 月 21 日(木)18:30~20:00、場所は岐阜医療科学大学 1 階大会議室で開催した。

出席者は浅野敦副会長(大垣市民病院)、高崎昭彦理事(岐阜医療科学大学)、佐藤恵彦理事(関中央病院)、田下智栄子会員(岐阜医療科学大学)、小枝勝会員(中濃厚生病院)、林 泉理事(美濃病院)、青木洋子理事(白鳥病院)、乙訓貴之理事(岐阜医療科学大学)の 8 名である。

開催日時は平成 31 年 10 月 12 日(土)~13 日(日)、場所は長良川国際会議場(メイン・会議室)…12~13 日、岐阜都ホテル(懇親会会場)…12 日。以上に決定したことを報告した。

実行委員は、学会長：岐阜県臨床検査技師会、副学会長(2 名)：岐阜県臨床検査技師会副会長、実行委員長：高崎 昭彦理事(岐阜医療科学大学)、副実行委員長：佐藤 恵彦理事(関中央病院)、藤井 泰三会員(木沢記念病院)、事務局長：乙訓 貴之理事(岐阜医療科学大学)、学術担当：岐臨技学術部長、会計担当：田下 智栄子会員(岐阜医療科学大学) 広報担当：小枝 勝会員(中濃厚生病院)、会場担当：林 泉理事(美濃病院)、懇親会担当：辻 陽介会員(美濃病院)、展示担当：青木 洋子理事(白鳥病院)、オブザーバー：<未定>。学会長、副学会長、学術担当に関しては、来年度からの理事交代後に選出、指名される方に担当していただく。

今年度の 56 回大会(愛知県担当)を参考に、学会役員として各担当に 1~2 名の副担当を決める。

実務委員は各地区理事(13 名)、部門長(9 名)、各地区より 10 名前後(50 名)の合計 60~70 名程度(愛知県 70~80 名)を募りたい。また愛知県の場合、副担当は 6 年後を見越して 30~40 代の若手技師を中心に各担当の副担当として配置している。6 年後の担当は岐阜地区になるので、岐阜地区を中心に副担当をお願いしたいと考えている。

第 56 回学会の概要、視察の事務局は岐阜医療科学大学が担当する。

学会のホームページの立ち上げ、宣伝用のポスターや名刺サイズのモノ(案)、作製は時機が来たら事務局中心に進めていく。

学会テーマ案を今年の 12 月を目途に作成、来年の 1 月の理事会で決定するスケジュール。三重の大会の時には次回予告にテーマを載せておかなければならない。学会のホームページの QR コードについては、事務局で確認しておく。三重の学会終了後からホームページを作成すれば良い。視察で事務局が確認する。

学会(愛知)の前日にイブニングセミナー(スキルアップセミナー)が開催される。岐阜の時も同じように学会前日に開催したい。長良国際会議場は前日(10/11(金))から予約している。この企画は部門企画で学会とは別のものになる。日臨技からの要望で学会前日に開催している、主に各部門長が主体で動く企画。実行委員会では場所だけ押さえておけばいい。

愛知大会の日程表を参考に、会場の大きさ、収容人数などを確認する。部門によって

は演題数の多い少ないがある。

学会懇親会の参加人数や会場の大きさを確認する。現在岐阜の学会は都ホテルを予約している。都ホテルは会場から渡り廊下でつながっている。会場は今のところ 2 階の会場をすべて予約している。視察で会場を調整していく。

企画について（愛知県の場合）

- ・特別企画：特別講演，公開講演 1・2 ←岐阜も同様に開催予定
- ・シンポジウム：学会企画…学会のメインシンポジウム←岐阜も企画する
- ・部門別研究班企画：各部門(9 部門)
- ・日臨技企画：日臨技会長講演，病棟業務検査技師企画，学生フォーラム
- ・中高生向け進学支援ガイダンス
- ・ランチョンセミナー：2 日間で 10 社。
- ・カフェスイーツセミナー：

シンポジウムは高崎理事が参加するので確認してくる。学生フォーラム，中高生向け進学支援ガイダンスは大学がかかわっているのので，事務局で確認してくる。マニュアルに関しては，愛知のマニュアルや日臨技ホームページの支部学会運営マニュアルを参考にする。抄録は Web 抄録にて対応する。（乙訓理事）

第 56 回学会視察(愛知)について、視察メンバーは 9/30(土)：浅野副会長，高崎理事，佐藤理事，田下会員，林理事，乙訓理事、10/1(日)：浅野副会長，高崎理事，佐藤理事，青木理事，乙訓理事。視察に関して，岐臨技から交通費・日当の支給がある。

1 日目の 9/30(土)は 8:30 に受付近くに集合する。学会長に挨拶する。各担当するところメインに視察してくる。事務局は受付など全体を確認してくる。学会懇親会は懇親会を視察する。

1 日目の視察メンバーは懇親会に参加して，イベントや企画ものを確認して，岐阜の学会の参考にする。実行委員長・副実行委員長・事務局…全体を見てくる。例) 受付回りの状況，レイアウトや人数，必要スペース，お弁当などの運用方法等々。

視察メンバーは今回の学会の改善点を見つけて，岐阜で改善していく。必要に応じて写真を撮ってくる。

学会メインテーマについては来年の 1 月中に決定したい。2 月の支部の幹事会でできれば報告したい。年内に案をまとめて，1 月の理事会に報告する。学会のメインテーマが決定したらそれに沿ったシンポジウムや各部門の企画が設定できる。過去のメインテーマは抄録をたどる。10 月の理事会の時に過去の学会のメインテーマをリストにして，各実行委員へ報告する。（乙訓担当）

第 2 回実行委員会会議についての日程は日時 11/10(金)に開催。出席については，事務局が確認する。内容は第 56 回学会(愛知)の視察について。岐阜学会のテーマを実行委員

が1人1つ考えて報告する。(乙訓理事)

佐藤部長より精度管理事業部からの報告があった。

一次報告書は10月6日にC・D評価施設のみ発送した。

総数41施設(臨床化学17、免疫血清5、微生物9、血液10、細胞3、一般9、生理21)、フォトサーベイも参加可能。現在、二次サーベイの参加施設を確認中(10月13日が締切り)である。再入力施設には、必ず是正報告書を提出していただく。

フォトサーベイで正解率の低い施設があり、是正報告書を確認する。

今後の日程は、二次サーベイ試料発送(化学・免疫・凝固・尿・便)10月17日(岐阜市民病院)より。是正報告書提出は10月中に。再入力期間は10月20日から23日まで。

第2回会議での最終評価は10月27日(金)。報告会資料公開は平成30年1月22日。

報告会(東海中央病院を予定)、日時は平成30年1月28日(日曜日)である。報告会の特別公演については「医療法の一部を改正する法律」について日臨技に講師を依頼した。日臨技より、宮島会長が直接講師として派遣されることとなった。(佐藤部長)

清水部長より組織調査部からの報告があった。

岐阜県の無料HIV検査会について説明があった。岐阜県主催のMSM対象の無料HIV検査会での簡易キットによる検査をハートフルスクエアGで11月12日(日)に開催。時間は13時~18時である。現在3名参加者あり。あと3名お願いしたいので希望者にご連絡ください。(清水部長)

岐阜経済大学で行われるエイズ予防啓発活動について説明があった。開催日は11月18日(日)。時間は9時~12時である。現在4名参加者あり、あと2名お願いしたいので希望者にご連絡ください。(清水部長)

各地区で開催される健康イベントについて、今年度もご協力お願いいたします。日臨技に行事登録しますので、会員番号と参加者氏名を清水まで送ってください。基礎点20点を申請します。(清水部長)

SEKIいきいきフェスタと同時開催の、平成29年度、検査と健康展の会場レイアウトについて説明があった。

学習棟で岐阜医療科学大学と臨床検査技師会で開催します。中央に待合スペースパイプイスが設置されそれを囲むように各ブースを設けた。土足厳禁ですので出入口を一箇所にしました。出入口に受付を設置し左側に岐阜医療科学大学のブース、右側に臨床検査技師会のブースを設けた。各ブースを回って最後に医師相談コーナーに進むよう配置した。

各部門の企画について説明があった。生物化学分析部門の企画は唾液アミラーゼ測定。臨床生理部門の企画は超音波で体の中を見てみよう。参加人数 10 名（予定）。臨床血液部門の企画は貧血の検査、血球の説明（パネル展示）。参加人数 3 名。病理細胞部門の企画は体内臓器を細胞までみてみよう。参加人数 2 名。臨床微生物部門の企画は手洗いチェック。参加人数は 2 名。輸血細胞治療部門の企画は学ぼう、血液のゆくえ。参加人数は 3 名。臨床総合部門の企画は問診。参加人数は 2 名。医師コーナーは健康相談で医師 2 名。その他として認知症検査を実施。参加人数 2 名を予定。（清水部長）

高崎部長より広報宣伝部からの報告があった。

10 月 20 日発行予定の第 54 号広報誌について現在準備中であります。中部圏支部学会や各イベントが多く記事に加える予定です。本日に間に合いませんでしたので、資料は皆様に PDF で送らせていただきます。（高崎部長）

ホームページのバナー広告は 10 月 31 日までで切り替えですので事務の種村様にお願いしております。新規で 1 社希望があるということ聞いております。（高崎理事）

高崎部長より第 56 回中部圏支部医学検査学会視察報告があった。

会場は名古屋国際会議場、合計参加人数は 1454 名（1 日：1000 人程度）、合計演題数 152 題、懇親会参加者数 270 名であった。

会場について名古屋会場と岐阜会場で対比を取りました。名古屋第一会場 640 名に対し岐阜メインホール 1200 名、名古屋第二会場（211）210 名に対し岐阜大会議室 A 81 名、名古屋第 3 会場（222, 2223）100 名に対し岐阜大会議室 B 81 名、名古屋第 4 会場（224）200 名に対し岐阜大会議室 C 81 名、名古屋第 4 会場（224）200 名に対し岐阜大会議室 C 81 名（シアター 121 名）、名古屋第 5 会場（221）50 名に対し岐阜第 5 会議室 50 名、名古屋第 6 会場 100 名に対し岐阜第 2 会議室 42 名、名古屋第 7 会場（234）200 名に対し岐阜第 3 会議室 42 名、名古屋第 8 会場展示会場 640 名に対し岐阜都ホテル（ボールルーム 1/3）300 名、名古屋懇親会会場 270 名に対し岐阜都ホテル（ボールルーム 2/3）700 名、名古屋本部 20 名に対し岐阜特別会議室 20 名で申し分ないと考えた。（高崎理事）

テーマは次回の実行委員会で候補を出したいが、出来れば広報のお知らせで募りたいと思います。（高崎理事）

是非そうしてください。いいテーマが集まるかもしれません。（兼子会長）

柴部長より懇親会の報告があった。

開催日は 10 月 7 日（土）。場所は大垣駅前 いろはにほへと。参加人数は 6 名であった。充実した時間を過ごすことができました。

今回は11月の秋季拡大研修会の前日土曜日(11月11日)に飛騨地区で意見交換会を開催します。場所は高山駅前「日本海庄や」会費は¥4000(飲み放題)参加募集要項は各施設の臨床検査技師長もしくは技師長に準ずる方・各施設 連絡責任者の方・岐臨技理事 監事。出欠票を11月5日までに岐臨技事務所までFAXをお願いします。是非ご出席ください。(柴理事)

乙訓部長より会計報告があった。

平成29年度岐臨技月別決算表に年度予算と差額を掲載しました。

8月の経常収益計783,355円、8月までの経常収益計11,714,378円、予算12,980,100円、差額-1,265,722円。8月の経常費用計696,908円、8月までの経常費用計4,541,644円、予算12,980,100円、差額-8,438,456円であった。(乙訓部長)

その他

岐阜の労働最低賃金が10月1日より改正され時給800円に引き上げられました。岐臨技事務員種村さんの給料が現在時給800円で最低賃金となります。そろそろ値上げを考えています。25円上げると月5000円昇給、50円上げると月10,000円の昇給程度となります。いかがでしょうか。(兼子会長)

本理事会多数賛同により時給850円に引き上げることに決まりました。

地域ニューリーダー育成研修会には中津川市民病院の市川理事に行って頂く事になりました。よろしく願いいたします。(兼子会長)

議長 兼子 徹 

議事録署名人 太田 義和 

議事録署名人 森 正利 

